

意見広告運動

事務局から

■第6期意見広告運動

「助っ人」の素人が

主体的に取り組みます、ご協力を！

第6期の意見広告運動が始まりました。事務局のスタッフにとつては、5期の運動の報告書作りと発送、5期からの贈り物ともいえる「非武装パンフ」の編集、宣伝、発送と息つく暇もなかった夏から秋でしたが、もう6期の運動の始まりを皆さんにお伝えする時期になってしまいました。本当は、少し休んで、頭のなかを整理したり、もっと勉強したりする時間が欲しいところですが、私たちをとりまく状況はそれを許さないところにきています。

改憲を政治日程に載せると公言する安倍氏が総理大臣となり、追い討ちをかけるような、北朝鮮の核実験もありました。思えば、小泉前首相の構造改革路線が始まって以来、日本に住む人々の暮らしは、ひどくなる一方です。人々は思考停止に陥り、小泉氏が作った劇場での理屈にならない理屈をおかしいと感じることもなく、選挙では、なにか強いものに頼りたく

いという気分が、自分たちの生活をひどくした張本人の現政権の大勝利に貢献するという不思議な現象を引き起こしました。事態は私たちが5期の運動を始めたころより、数段悪くなっていると言わざるを得ません。

しかし、危機感はある人々をつなげる働きもします。5期の運動の大成功と、それに続くパンフの爆発的な売れ行きは、確かにそこにいる私たちの仲間の存在を強く感じさせてくれるものでした。これまでは、改憲派の巧妙なやり方に圧倒されていた私たちですが、ここにきて改憲に反対の言論活動も活発になり、ようやく両者が土俵上でらみあいを始めたという実感がしています。

いうまでもなく、この運動の目的は、非武装・不戦の憲法を変えさせないという共通の思いをもつ人々が市民の意見として新聞紙上にそれを表明することです。運動をお金で買うのかとか、大新聞に払うお金があつたら今、お金を必要としているところへやったらどうかという批判もときとして受けます。しかし、政府与党の仕事、考えをニュースとして垂れ流しているマスコミに対し、それに批判精神を持つ市民の意見を、新聞紙面を買って大きく載せることは今だからこそ求められていると考えます。私たちの力で世の中の流れをストップさせ、今起こ

っていることは正しいのか、世の中の人の問う機会にもなるでしょう。

前期まで実務の中心となつて動いていた井上澄夫氏が健康上の理由で、今回の運動には関われないことになり、今期の事務局は今まで市民運動に「助っ人」感覚で参加していた素人が実務に主体的関わりを持って取り組むことになりました。慣れない仕事、慣れない人の名前、慣れない市民運動団体の名前・・・あつちを向いても、こつちを向いても、知らないことばかりで、毎日が勉強、勉強の連続です。しかし、吉川勇一さんはじめ、「市民の意見・30の会」の皆様のご助力を得ながら、なんとか、運動を成功させたいと思っています。皆さんの応援を待っています。（文責：北原博子 事務局）

＊おしらせ 点字版『武力で平和は創れない』ができました！

市民意見広告運動のパンフ『武力で平和は創れない』の点字版が出来ました。意見広告運動に参加している方々が製作して下さいました。ご希望の方は、当会事務局までお申し込み下さい。一冊¥650（送料別途）

また、チラシの点字版も出来上がりました。一部（七枚）35円です。こちらは視覚障害者の方には、無料にてお渡し致します。送料のみご負担下さい。